

新年も元気で仲良く

門松づくり

新年を祝い、その年の無事を祈つて家の門口に飾られる門松。シルバー人材センターでは、会員の皆さんの手によって、毎年門松づくりが行われていきます。昨年は12月6日に、会員が持ち寄った竹や松、梅、南天などの縁起物を使って、3人で手際よく飾りつけを行いました。作業を行った山口秋生^{あきお}さんは「門松を作ると、正月が来たなと実感します。新年も、みんな元気で仲良く過ごしていける年になりたいね」と目を細めていました。



より深い交流を

ベリーズ国万博スタッフが来町

いよいよ今年3月25日に開幕する愛知万博。そのパビリオンスタッフ事前研修で来日した三好町のフレンドシップパートナー国・ベリーズのターニャ・オシエール・ムサさんとマリアナ・ネイダ・ベルデさんが11月26日、三好町を訪れました。ふるさと会館では抹茶を体験し、町民病院など町内の施設を見学した2人。「万博をきっかけに、ベリーズと三好町の交流をより深めることができれば」と今後の交流に期待を高めていました。



出来は100点満点

天王保育園祖父母の会

子どもたちが日々園内でどんな生活をしているのか知ってもらおうと12月2日、天王保育園で祖父母の会が開かれました。年少園児はリズム演技、年中園児は歌や楽器合奏、そして年長園児は自作の道具を使った演劇「おおかみと7匹の子やぎ」を披露。園児たちは緊張しながらも、一生懸命発表していました。孫の発表を楽しみにしてきた三好下の安藤和枝さんは「出来は100点満点。上手に発表できたね」と感動した様子でした。



スポーツを通じた交流を

グラウンドゴルフ交流大会

誰でも気軽にスポーツに親しみ、交流することを目的に昨年6月に発足したなかよしクラブ。その活動の一環として11月28日、グラウンドゴルフ交流大会が三好中学校で開催されました。子どもからお年寄りまで、およそ70人が参加したこの大会。参加者たちは、16組に分かれてゲームを行いながら、交流を深めていました。三好上の久野晴代はるよさんは「初めてプレーしましたが、親切に教えてもらって楽しめました」と満足そうでした。



地域交流のきっかけづくり

地域通貨体験交流会

人と人との出会いを作り、助け合いながら地域の交流を深めようと考えられた地域通貨「Jan(じゃん)」。このじゃんを皆さんに知ってもらおうと12月5日、体験交流会が中央公民館で行われました。折り紙や写真撮影、日本の民族楽器「銭太鼓」の体験、焼きたてピザなどのサービスが会員から提供されたこの催し。40人の参加者たちは、サービス体験を通して交流を深めていました。なお、次回の交流会は3月に開催する予定です。



税金について理解を深めよう

租税教室

国や地方公共団体の財政を支える租税についての理解を深めてもらうと、町内の児童・生徒を対象に毎年開催している租税教室。今年度初めてとなる教室が12月7日、南中学校で開催されました。3年生105人を対象に、三好町役場税務課の職員が税の仕組みや現状を説明したこの教室。竹村駿彦としくんくんは「これまで言葉でしか知らなかった税金について、具体的な数字を聞くことで実感がわき面白かったです」と理解を深めていました。

